

## 知多市教育委員会と知教労との話し合いまとめ

知多教育委員会（委）

永井教育長 柘内指導主事 施設チーム平松チーム長

知多地方教職員労働組合（組）

岡崎書記長 岩澤副委員長 市野副委員長

**組** まず、1週間閉庁と留守電、小学校部活廃止決定で今年度すでに負担が減り大変感謝する。小中陸上大会もなくなるのか。  
**委** 再来年度からは市民大会にし、中学校は希望する部活を参加させたい。小学生も希望があれば参加させたい。留守電はできるだけ勤務時間に近づけるようやってきた。

### 1.愛知県教員の多忙化解消プランと文科省の勤務時間の上限ガイドラインについて

#### ア)数値目標達成の見通しについて

**組** 超過時間が減ってきているが、多忙化解消プランの数値目標まで遠い。  
**委** 年度始めや学期始めは苦しい。  
**組** 超過は45時間以内の線が文科省から出された。公務員は適用外だが、一般企業で残業が100時間を超えると刑事罰の対象になる。そういう認識をもってほしい。業務削減計画はあるのか。  
**委** 小学校の課外が減っていくので小学校はいけるのではないかと。知多中と旭南中は留守電の17時半に合わせて部活を終えている。先生の意識も変わっていくと思う。用事があれば保護者は電話でなく学校に来ればよい。朝部も、中部中は1学期やらないくらいの勢いになっている。午後が長いときは朝部はやめるようにした。  
**組** 4月で80時間超えが旭南中2割で知多中、東部中は7割超え。正直に書いているのはよい。言い続けると削減は無理。  
**委** その通り。  
**組** 小学校は学校訪問がある学校で減っていない。市単独の学校訪問は軽減できるのではないかと。  
**委** 年度初めの立ち上がりは大変ということでは理解している。しかし、やるべきことはやって簡略化できることはしてほしい。教頭会が終わってからの衛生委員会で、学期に1回の年休など各校の取り組みの情報交換をしている。現状追認へのこだわりを意識改革していく。  
**組** 意識改革のために教委は何を行ったか。留守電・閉庁は早めに保護者案内を校長会と市教委の連名で出した。市P連で学校が担う仕事、保護者・地域が担う仕事等の話をした。

**組** 学校訪問で昨年より業務が減ったかを確認すべきだ。県教委が出した6月調査のまとめも参考になる。労働安全衛生委員会で「必ず減らす」と強く言うべき。  
**委** 挨拶する場面では働き方の話を必ずしている。地域や保護者の意識改革にはまだまだ時間がかかる。  
**組** 働き方改革で勢いがある今がチャンス。校長はPTAの集まりでも言うように指導してほしい。業務を減らすのも管理職の仕事。

#### イ)勤務時間の適正な把握について

**組** 4月の出退勤簿を見ると、正しく記録しているのかという疑問も湧く。  
**委** 今年から45時間と80時間以上で集計をし、正しく記録するよう何度も言っている。  
**組** 休憩が取れていないのに1日45分と計上すると、一月で16時間～20時間ほど実際より短くなる。  
**委** 勤務時間を客観的に把握する機器の導入を検討し、3校で試験している。予算要望したが来年度は見送られた。休憩も実態把握できるように考えている。完成度の高いものをなるべく早く導入したい。  
**組** 導入までは、管理職の点検を指導していただきたい。  
**組** 勤務開始時刻と朝会など児童生徒への一斉指導開始時刻が同じ学校がある。ずらすよう話題にしていきたい。

#### ウ)県部活指導ガイドラインの実行状況について

**組** 朝部を県は推奨しないとやっている。  
**委** 教育委員会からではなく、教員が自分の意識として減らしていただきたい。  
**組** 教員が死にそうに働いているので部活を減らすしかない  
**委** これだけ暑いと午後はやらずに朝やろうという学校は出てくる。  
**組** 朝早く出るなら早く帰るべき。労働時間を減らすために「部活をやらない」が選択肢。  
**組** 文科省は部活は自由意志で参加するものだと言っているが知多市はどうか。  
**委** よそで活動していると入らないこともある。先生が部活顧問拒否を選択できるのか。  
**組** 校務分掌上では、郡大会の引率等のために名前を入れているのが現状。

組 「平日3日、土日どちらかで半日」は守られているか。  
委 守られている。  
組 大会は増えていないか。  
委 顧問同士が話し合っていてやっているのはあるかもしれない。  
組 管理職が知らずに重大事故が起きたら大問題になる。もしあれば強く指導してほしい。  
委 市教委は大会を増やす考えは全くない。  
組 部活動の社会体育への移行も考えていてほしい。職員の意識を高めないと中学校の部活を好きな先生は減らそうとしない。  
委 部活顧問者会で、自分たちのことを自分たちの問題として考えてほしい。

#### 工)多忙化解消意識を高める手立てについて

組 教頭、校長の研修はしているか。  
委 市校長会で、去年は横浜、今年は新潟の働き方改革の先進校に行き、専門家の話も聞いて研修している。現職教育でも働き方改革をテーマにすればよい。

#### 2.労働条件整備について

組 エアコン、知多市は音楽室も入った。しかし、図工室は扇風機も入っていない。インフルエンザ予防接種の補助、便検査も職員健診に入れてほしい。  
委 図工室も検討対象にしている。インフルエンザ予防接種補助は未定である。ストレスチェックは2回行った。  
組 変形労働時間制は、国会で話題になるが実施は自治体になる。話題になったら反対してほしい。  
組 特定事業主行動計画について聞く、年休取得日数調査は行ったか。  
委 やっていない。閉庁日を5日作って年休取得促進はしている。  
組 年休や男性の育休取得を周知・促進しているか。  
委 制度としてあるのだから取れるのは当然。知多市でも夏休み取った人がいる。  
組 教員の長時間労働が有名になって人気もなく倍率が下がっている。給料もそれほど高くないことが知られてきた。  
委 給与も上げるように言っている。制度がいろいろできたが、育休産休の代わりがなかなか見つからなくて困っている。

#### 3教育条件の整備について

##### ア)予算要望が現場の声を反映してほしい

組 各教室にモニターを据え付けてほしい。移動式は邪魔であり、取り合いになる。

委 学校の要望により、電子黒板にした。台数を増やしてかち合わないようにしたい。タブレットも十分な台数がないので、予算折衝をしていく。

##### イ)学校訪問について

組 学校巡回で「ありのままを見せるものではない」と教頭が言った。  
委 ありのままが良いが、ロッカーからランドセルが出ていると危険だとふだんから教えてほしい。掲示物がはがれたままでは困る。  
組 直前にはがれることもある。管理職が事前に点検するなどという指導はしてほしい。  
委 ふだんからきちんとやっていたらふだん通りでよい。

##### ウ)図書館司書等の教育補助職員について

組 学校司書補助が知多市はない。  
委 昔入っていたが、なかなか復活できない。

##### エ)新指導要領での負担軽減について

組 小学校は新指導要領で授業の業務が増える。負担軽減の方策はあるのか。  
委 人の手当について県へ要望はしている。市独自では人を配置できていない。ちた塾で協力をお願いをしている。学校支援ボランティアの中にいけば使ってほしい。

#### 4.自由で民主的な教育内容の保障について

##### ア)「キャリアプロジェクト」について

組 職場体験は中学校の先生に大きな負担。事業所からもやめてほしいという声を聞く。業務削減の一環として断ればよい。教育委員会会議で議題として取り上げられているか。  
委 取り上げていない。  
組 現場の教育課程編成の意見も聞かず、市で決定しているのは間違い。現場の意見を吸い上げてほしい。

##### イ)副教材・副読本等の選定・採択について

組 知多の友、リープなどはデータだけにし、健康手帳はC4t hに入力すればよい。  
委 これについては議論が平行線になる。  
組 作成のために勤務時間内に出張させるのは、管理職が多忙化解消のために断るべき。授業第一と考えるなら出張させるべきではない。  
委 検討はする。やらなければいけないことは増えているので、市の研修総会のように考えていかないといけない。

今年も真摯に対応していただきました。